

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3390400046		
法人名	有限会社スマイルケア		
事業所名	グループホームゆとり		
所在地	玉野市玉原2丁目17-21		
自己評価作成日	H22年2月9日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 高齢者・障害者生活支援センター		
所在地	岡山市 北区 松尾 209-1		
訪問調査日	平成22年3月16日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

『心が躍る誇りある暮らし』という理念に添って、入居者に「生きる意欲」「生きる楽しみ」を持ち続けてもらえるような支援をしています。ここは利用者にとっては《自分の家》であると考え、私たちスタッフは彼らと共に暮らし、共に笑い、共に楽しみ、時には共に泣くことによって、たくさんの安心と喜びを提供できるように頑張っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

理念に沿って入居されている方々が意欲や楽しみを持ち続けて生活してもらえるように、職員一人ひとりが支援の目標を掲げて、サービスの質の向上に努めている。ホームの近くの公園には桜並木もあるので、春には花見を楽しんだり、桜まつりのイベントに入居者されている方もステージに出演され、地域の一員として交流できている。入居者さまも穏やかな表情で普通の暮らしをされ、また職員も明るく優しく支援されていました。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	社会とつながりがあることで、誇りある暮らしが送れるように、なじみの店を利用するなど、地域との関わりを大切にしながら生活できるように援助している	「心が躍る誇りある暮らし」という理念のもとに、職員が個々に年間のサービス提供の目標を掲げて、実践に繋げている。	今後とも理念を共有し、職員個々のサービス提供の目標を掲げてホームの質の向上に繋げていただきたいと思います。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の方が立ち寄って、庭で咲いた花や差し入れを届けてくださることがある 事業所の職員は地域の人々と気持ちよくあいさつを交わすように心掛けている	利用者が地域の一員として暮らせるよう、町内会に加入して、行事に参加すること、民謡、銭太鼓、絵手紙の先生がボランティアで訪問してくださっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域で行われる様々な研修や会合に出席し認知症ケアの啓発に努めている また人材育成の貢献として、実習生の受け入れを積極的に行っている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で出た意見を取り入れ、実践へと活かしていけるようにしている	2ヶ月に1回運営推進会議を開催し、そこでの意見等をサービスの向上に生かしている。 桜祭りへの参加を誘われ、昨年参加している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	GH連絡協議会では、行政からの情報提供を受けたり、各GHのサービスの取り組みなどについて話し合う時間を設けている 日頃から行政との連絡は密にとっている	日頃から市町村との連携は、利用者の生活状況やサービスの取り組みを伝えて協力関係を築いている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関するマニュアルに基づき、職員の意識統一を図っている 車椅子利用者もベルトやテーブルで固定することなく、見守りを強化している	身体拘束をしないケアの取り組みはマニュアルに基づき、会議等で勉強し、理解を深めて実践に繋げている。建物の立地条件上玄関の鍵は施錠しているが、ご家族の中には安心される方もおられる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	不適切なケアだと思われることは、職員全員で話し合い改善していくようにしている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度を利用している利用者が1名あり、担当者と連携を図りながら支援をしている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	時間をかけてわかりやすく丁寧な説明をしている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族とは電話、手紙、メールなどで連絡を密に行っており、来所時等は何でも言ってもらえるような雰囲気づくりをしている 意見が出されたら、職員全員に伝え介護に反映するように努めている	ご家族には訪問時や運営推進会議時に意見や要望を話せる機会を設けている。又意見等はミーティングで話し合い運営に反映させている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	機会あるごとに各職員から意見を聞くようにし、必要であれば全体会議で取り上げて職員全員で話し合いができるようにしている	全体会議で職員の意見等を聞き、代表者会議で議題に取り上げ運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は現場に来て利用者や過ごしたり、職員の業務や悩みを把握している また職員の資格取得に向けた支援を行っている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	なるべく全職員が順に研修を受けることができるよう配慮している また、研修後はそれを全体会議で発表し全職員が学べるようにしている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	玉野市にグループホーム連絡協議会を立ち上げ、年2回集まる他、相互の連携を図るように努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	必ず事前に訪問面接し、細かくアセスメントを行っている 特に本人、家族の要望をしっかりと聞くようにしている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の困りごとや苦勞をゆっくり聞いて理解し、事業所としてはどのような対応ができるか事前に話し合いをしている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	できることはすぐに始め、できないと思うことから逃げず方法を検討する		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者は人生の先輩であるという思いを共有し、利用者に教えてもらう場面を多くするための工夫や声かけをしている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人の日頃の状態をこまめに報告・相談したり、手紙や電話のお手伝いをしたり、と家族とのつながりを大切にしている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	できるだけ行きつけの美容院や理髪店に行けるように配慮している また、近所の人や民生委員さん、知り合いの電気屋さんなどの訪問もある	入居前からの行きつけの美容院に行ったり、利用者の自宅の隣の方の訪問等、馴染みの関係が途切れないように支援できている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個別に話を聞いたり、皆で楽しく過ごせる時間を作ったりと、職員が利用者間の調整役になって支援している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院された病院にはアセスメントシートを渡して情報提供している 急性期治療後のことについても、家族の相談にのり、病院との連携を心掛けている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中でそれとなく確認できるよう、声かけをしている 家族からも情報が得られるように関わりを大切にしている	ご家族ともよく話をするようにして、意向の確認に努めている。遠距離におられる家族へはメールで生活の様子を(写真を添付)送付して喜ばれたようです。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者ひとりひとりの生活歴を把握できるよう、アセスメントには注意を払っている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の生活リズムや生活習慣を理解するよう記録を十分にし、職員全員が情報を共有できるようにしている できないことよりできること探しに努めている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	常に問題点を考え、解決方法を検討するようになっている 問題があれば介護計画の見直しを行うこともある	ケアのあり方について連絡ノートをつくり、日々反映させるようになっている。何かあれば必要な関係者で話し合い、カンファレンスをして現状に即した介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人ファイルへの記録は、本人の様子がよくわかるように本人の言葉を交えて叙述的に行っている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況に応じて、通院や送迎など必要な場合は柔軟に対応している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員さんや地域包括支援センターの職員さん、駐在さんにも運営推進会議に出席してもらい、情報交換をしている また、地域のお祭りにも参加し、交流を深めている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人やご家族の希望するかかりつけ医の受診を奨励している 家族が同行できない時は職員が代行できるように配慮している	本人、家族が希望するかかりつけ医での受診をしており適切な医療が受けられるように支援している。ほとんどの方が家族と同行での受診をしているが、介護が必要な方や緊急時はホームで対応されている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師を配置しており、常に利用者の健康管理や状態変化に応じた支援を行えるようにしている 看護師とは常に連絡がとりあえる体制である		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は日頃の様子や介護方法など細かい情報提供を行っている また、定期的に見舞って入院後の様子を把握したり、家族とも連絡を密にして、退院支援に結び付けている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末期のあり方については、早いうちに本人・家族の意向を確認するようにしている 事業所としてできることとできないことの説明も行っている	入居時に重度化や終末期に向けた方針について、本人、家族の意向を確認し、事業所としてできる事も説明して支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応についてはマニュアルを作り周知徹底を図っている 消防署の協力を得て、職員が普通救命講習を受ける機会を設けている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	マニュアルを作成し、年2回利用者と共に避難訓練を行っている 元消防団長より講話や消火器の使い方等の訓練を受けている	夜を想定するなど、年2回避難訓練をしている。地域の民生委員さんも参加していただき、地域との協力体制も築いている。	これからも地域との協力体制を築いて、災害対策に取り組んでください。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	年長者として敬意を払い、常に本人の気持ちを大切に考えている トイレの誘導や介護は目立たずさりげなくできるように配慮している	利用者一人ひとりの人格を尊重して、援助が必要なときには「さりげないケア」を心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	声かけを多くし、意思表示ができるように誘導している 言葉で表現できない場合は、表情や反応で読み取るようにしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはあるが、その日の体調や気持ちに合わせて無理強いすることなくその人のペースを大切にしている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	服装はできるだけ自分で選んでもらえるよう配慮し、着衣や髪の毛の乱れ、食べこぼしなどはさりげなくカバーをしている なじみの美容院に行く援助も行っている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は利用者にも相談し、各人の好みを取り入れられる工夫をしている また、職員と一緒に楽しく食事ができるよう、雰囲気作りを大切にしている	利用者と職員が買物、準備、片づけ等を一緒にして、楽しく食事ができるよう、雰囲気づくりができている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々のin outの記録をきちんとつけている 糖尿病の人、肥満傾向の人、食が細い人、野菜嫌いな人、水分摂取が苦手な人など一人ひとりの状態を把握して対応している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自分でできる人、声かけが必要な人・・と本人の能力に応じたケアを行っている 自分では十分にできない人は必ず、後で手伝って一緒に行うようにしている 義歯の管理にも注意している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	自分で尿意を訴えることができない人も、その人その人のサインを理解してさりげなくトイレに誘導することで、一回でも失敗を減らしていけるように努力している	排泄チェック表を利用して、誘導することにより、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行なっている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取や運動の大切さを職員が周知し、日々の生活の中で自然にそれらができるように援助している		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	時間帯は午後からに決めているが、失便時などは臨機応変な対応をしている その日の体調や気分も大切に、湯温や浴槽の好みにも応じ、個別援助をしている	入浴が楽しめる様に出来るだけ利用者の気持ちに合わせた支援をしている。入浴があまり好きでない利用者には声かけを工夫して入浴してもらっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は活動量を高めていけるような援助を行い、生活リズムを整えるようにしている 午睡の好きな方も、夜の眠りに支障がないように日中の過ごし方に注意している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬内容が変わった時などは、健康管理ノートに服薬情報を整理し、職員全員が内容把握できるようにしている 服薬時は手渡し介助を行い、最後まで確認している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの力を十分に発揮してもらえようその人の「できること」を探している また、仕事をしてもらった時には必ず感謝の言葉を伝えている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ホームの立地条件も悪く、職員体制が十分でないため、外出支援は不足していると思うが、一人ずつでも、短時間でも戸外に出る機会を作る努力をしている	毎日の食材の買出しや希望にそって外出できるよう努めている。もう少し外に出て日光浴をする機会が設けたいとお話をお聞きする。	現状から考えられる外出支援について出来る事から少しずつ実践していくことに取り組んで欲しい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	事業所管理は行っていないが、少額のお金を持っている人もいます。 通販での買い物にも協力している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	遠くに住む家族に電話をかけたり、手紙を出す援助をしたりして喜びを感じてもらえるよう支援している		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	テーブルの上には季節の花を飾り、採光はブラインドで適宜調節するなど、落ち着いた雰囲気や留意している また、大きな音をたてないよう注意をしたり、こまめに室温を調節したりの配慮をしている	共用の空間は、室温を適温に保ち、季節のお花を飾ったりして、居心地よく過ごせるよう工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	座り心地の良い椅子、お気に入りのソファ、自席での居眠りなど、利用者それぞれがゆっくり過ごせる場所がある		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	昔から愛用してきた鏡台を持ってきてもらったりして、本人が落ち着いて生活できるようにしている 位牌を持ってきている人もある	畳に布団・ベット等入居前の生活習慣を大切にしながら、馴染みのものやTV、写真などをかざり、本人が居心地よく過ごせるような工夫ができています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各利用者の状態を把握し、浴室タイルの滑り止めや手すりの増設、車椅子のアームレストの取り外しなど、個々のレベルに合わせた安全への工夫をしている		